



データストアのマウントとアンマウント

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere 6.2

NetApp
March 04, 2026

目次

データストアのマウントとアンマウント.....	1
SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを使用してバックアップをマウントする.....	1
SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを使用してバックアップをアンマウントする.....	2

データストアのマウントとアンマウント

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを使用してバックアップをマウントする

バックアップ内のファイルにアクセスする必要がある場合は、バックアップから従来のデータストアをマウントできます。バックアップは、バックアップが作成されたESXiホスト、または同じタイプのVMおよびホスト構成を使用する別のESXiホストにマウントできます。データストアはホストに複数回マウントできます。

VVOLデータストアはマウントできません。

開始する前に

- 代替ESXiホストがストレージに接続できることを確認する

代替ESXiホストにマウントする場合は、代替ESXiホストがストレージに接続できること、および次の要件を満たしていることを確認する必要があります。

- UIDとGIDが元のホストと同じ
- SnapCenter Plug-in for VMware vSphere仮想アプライアンスのバージョンが元のホストと同じである
- iSCSIプロトコルを使用する場合は、ストレージシステムのイニシエータがESXiホストにマッピングされていることを確認してください。NVMeプロトコルを使用する場合は、コントローラを追加して必要なサブシステムをESXiホストにマッピングします。
- 古いLUN /ネームスペースをクリーンアップ

ESXiホストで検出できる一意のLUN /ネームスペースはデータストアごとに1つだけであるため、複数検出された場合は処理が失敗します。これは、前のマウント処理が完了する前にマウント処理を開始した場合、LUN /ネームスペースを手動でクローニングした場合、またはアンマウント処理でストレージからクローンが削除されなかった場合に発生することがあります。複数のクローンが検出されないようにするには、ストレージ上の古いLUN/ネームスペースをすべてクリーンアップする必要があります。

タスクの内容

データストアが配置されているFabricPoolのストレージ階層が使用できない場合、マウント処理が失敗することがあります。

手順

1. VMware vSphere Clientのショートカットページで、*[ストレージ]*を選択します。
2. データストアを右クリックし、* SnapCenter Plug-in for VMware vSphere >[バックアップのマウント]*を選択します。
3. ページで、バックアップとバックアップの場所（プライマリまたはセカンダリ）を選択し、[終了]*を選択します。
4. オプション：データストアがマウントされたことを確認するには、次の手順を実行します。
 - a. ツールバーの*を選択し、ドロップダウンリストから[ストレージ]*を選択します。
 - b. 左側のナビゲーションペインで、マウントしたデータストアがリストの上部に表示されます。

ボリュームのクローニング時に新しいSnapshotが作成されないようにするには、SnapVaultボリュームのONTAPスケジュールをオフにします。既存のSnapshotは削除されません。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを使用してバックアップをアンマウントする

データストア内のファイルにアクセスする必要がなくなった場合は、バックアップをアンマウントできます。

VMware vSphereクライアントのユーザーインターフェースにバックアップがマウント済みとして表示されているが、バックアップのアンマウント画面に表示されない場合は、REST APIを使用する必要があります。`/backup/{backup-Id}/cleanup`範囲外のデータストアをクリーンアップしてから、マウント解除手順を再度試してください。

負荷共有ミラー関係にあるルートボリュームを持つストレージVM (SVM) にNFSデータストアのバックアップコピーをマウントしようとする、次のエラーが発生する可能性があります。`You might have reached the maximum number of NFS volumes configured in the vCenter. Check the vSphere Client for any error messages.`この問題を回避するには、**ESX > 管理 > 設定 > 詳細システム設定** に移動して **NFS.MaxVolumes** 値を変更し、最大ボリューム設定を変更します。最大値は256です。

手順

1. VMware vSphere Clientのショートカットページで、*[ストレージ]*を選択します。
2. 左側のナビゲーションペインで、データストアを右クリックし、ドロップダウンリストから* SnapCenter Plug-in for VMware vSphere *を選択し、2番目のドロップダウンリストから*アンマウント*を選択します。



アンマウントするデータストアを間違えないようにしてください。そうしないと、本番環境の作業に影響を与える可能性があります。

3. [Unmount Cloned Datastore]ダイアログボックスで、データストアを選択し、**[Unmount the cloned datastore]***チェックボックスを選択して[Unmount]*を選択します。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。